

教養コース

1. 登録資格

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣が指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者、又は高等学校卒業程度認定試験を合格した者
- (7) 大学を卒業した者。短大または高等専門学校を卒業した者
- (8) その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 登録上の注意事項

- (1) 総合教育科目・共通専門科目・専門科目で、**4. 受講可能科目一覧**の中から興味のある科目を学習します。
- (2) 科目等履修生として修得した単位は、正科生として入学した場合に、既修得単位として認定できます。ただし、修得された科目(単位)によっては認定できない場合があります。

3. 登録期間及び単位数

登録期間は1年とし、履修登録できる単位数の上限は、1年間で30単位とします。(選考を経て同科目を1年に限り延長可)

4. 受講可能科目一覧 (通信=レポート、面接=スクーリング)

(※通信授業試験 △最終課題)

総合教育科目					
科目コード	科目名	授業形態	単位数		
			通信	面接	計
0101	現代美術論	講義	4		4
0102	日本国憲法	※ 講義	2		2
0103	人権問題論	講義	2		2
0104	文化人類学	△ 講義	4		4
0105	哲学	講義	4		4
0106	保健体育概論	講義	2		2
0107	図学	△ 講義	4		4
0108	心理学	※ 講義	4		4
0109	映画と文学	講義	4		4
0110	法と芸術	講義	2		2

本学では、教養コースで取得した単位は教職コースではないため、「学力に関する証明書」は発行していません。

共通専門科目					
科目コード	科目名	授業形態	単位数		
			通信	面接	計
0201	デザイン学概論	講義	2		2
0202	建築デザイン論	講義	4		4
0204	写真概論	講義	4		4
0205	工芸論	講義	4		4
0206	造形原理	講義	4		4
0207	色彩学	講義	4		4
0208	デザイン史	講義	4		4
0209	ビデオ映像制作論	講義	4		4
0210	美術論	講義	4		4
0211	都市デザイン概論	講義	4		4
0212	日本美術史	講義	4		4
0213	西洋美術史	講義	4		4
0216	建築論	講義	4		4
0217	映像概論	講義	4		4
0218	マンガ文化論	講義	2		2
0219	演劇概論	講義	4		4
0220	文芸概論	講義	4		4
0221	放送概論	講義	4		4
0222	日本文化史	講義	4		4
0223	音と芸術	講義	4		4
0224	20世紀の音楽	講義	4		4
0225	大衆芸能論	講義	4		4
0226	芸術情報論	講義	4		4
0227	比較文化論	講義	4		4
0228	映画史	講義	4		4
0250	アートプランニング	講義	2	2	4

5. 通信単位数、面接(スクーリング)の単位数・日数・費用について

- 通信に単位数の記載がある科目は、授業形態が講義や演習・実習と記載があってもレポートの提出で単位を修得します。表中の科目に※通信授業試験や△最終課題のある科目は、通信授業試験、通信授業試験の代わりに提出する最終課題までが通信単位になり、単位の修得には合格が必要です。
- 面接に単位数の記載がある科目は、面接(スクーリング)を受講し単位を修得します。

面接(スクーリング)日数・費用

講義1単位=2日間(1単位8,000円(東京10,000円))

講義2単位=3日間(1単位8,000円×2=16,000円(東京20,000円))

演習・実習2単位=3日間×2回=6日間(1単位12,000円×2=24,000円(東京30,000円))

美術学科専門科目					
科目コード	科目名	授業形態	単位数		
			通信	面接	計
1001	平面基礎 ^(注1)	実習	4	2	6
1002	立体基礎	実習	4	2	6
1003	絵画概論	講義	2		2
1004	美術特論	講義	4		4
1007	絵画表現研究 ^(マテリアル研究) ^(注1)	演習		2	2
1021	版画表現研究	演習		2	2
1611	金工基礎実習	実習	2	2	4
1612	金工実習Ⅰ	実習	2	2	4
1631	陶芸基礎実習 ^(注4)	実習	2	2	4
1632	陶器実習Ⅰ ^(注4)	実習	2	2	4
1651	繊維基礎実習	実習	2	2	4
1681	工芸演習	演習		2	2

デザイン学科専門科目					
科目コード	科目名	授業形態	単位数		
			通信	面接	計
1101	ビジュアルデザイン論	講義	4		4
1102	ビジュアルデザイン基礎実習Ⅰ ^(注1)	実習	2	2	4
1103	ビジュアルデザイン基礎実習Ⅱ ^(注1)	実習	2	2	4
1104	ビジュアルデザイン基礎実習Ⅲ ^{(注1)△}	実習	2	2	4
1105	メディアデザイン論	講義	4		4
1110	マーケティング論	講義	4		4
1114	アドバタイジング	講義	4		4

建築学科専門科目					
科目コード	科目名	授業形態	単位数		
			通信	面接	計
1201	建築史Ⅰ	講義	2		2
1202	住居論	講義	4		4
1203	インテリアデザイン論	講義	4		4
1206	建築史Ⅱ	講義	2		2
1207	建築構造力学	講義	4		4
1208	都市設計論	講義	4		4
1255	建築法規	講義	4		4
1215	建築設備	講義	4		4
1216	建築一般構造	講義	4		4
1241	建築造形演習	演習		2	2
1242	施工	講義	2		2
1243	材料	講義	2		2

注1) 同一学科内で1科目のみ履修登録できます。

注2) 「音楽制作特論」、「情報音楽論」、「課題研究1」、「コンピュータと音楽」、「ポピュラー音楽論」については、パソコンとWord等「ドキュメントファイル形式(拡張子.doc)で書き出し可能なワープロソフト、およびインターネット接続環境が必要となります。

注3) 「人間と音楽」、「ソルフェージュ」、「楽典」、「サウンドスケープ論」の受講にはパソコンとインターネット接続環境が必要となります。(「楽典」はプリンターも必要。)

* 〇〇の科目はWeb教材科目です。受講にはパソコンとインターネット接続環境が必要となります。なお、Web教材費として年間10,000円が別途必要です。

注4) 取得順位「陶芸基礎実習」→「陶器実習Ⅰ」(同時履修不可)。

写真学科専門科目					
科目コード	科目名	授業形態	単位数		
			通信	面接	計
1501	写真史	講義	4		4
1502	写真科学	講義	2	2	4
1503	写真情報論	講義	2		2
1504	写真映像論	講義	2		2
1505	フォトアートⅠ ^(注1)	演習	2	2	4
1506	写真基礎実習Ⅰ ^(注1)	実習	2	2	4
1507	テクニカルフォトⅠ ^(注1)	実習	2	2	4
1508	写真照明論	講義	2		2
1512	作家論	講義	2		2

文芸学科専門科目					
科目コード	科目名	授業形態	単位数		
			通信	面接	計
1301	詩論	講義	2	2	4
1302	文章論	講義	2	2	4
1303	言語芸術論	講義	4		4
1305	小説論	講義	2	2	4
1306	芸術批評論	講義	4		4
1309	戯曲論	講義	4		4
1323	広告の企画と表現	講義	2	2	4

音楽学科専門科目					
科目コード	科目名	授業形態	単位数		
			通信	面接	計
1901	音楽制作特論 ^(注2)	△ 講義	2	2	4
1902	人間と音楽 ^(注3)	講義	4		4
1903	情報音楽論 ^(注2)	△ 講義	2	2	4
1904	西洋音楽の歴史と理論	講義	1	1	2
1905	日本音楽の歴史と理論	講義	1	1	2
1908	課題研究1 ^(注2)	△ 演習	2		2
1909	ソルフェージュ ^(注3)	* 演習	2		2
1910	楽典 ^(注3)	演習	2		2
1912	サウンドスケープ論 ^(注3)	△ 講義	2	2	4
1913	コンピュータと音楽 ^(注2)	△ 講義	4		4
1914	ポピュラー音楽論 ^(注2)	講義	2		2

*東京スクーリングは建築学科と音楽学科の一部の科目のみ開講しています。

6. 単位の取得方法

通信＝レポート(表の※△は、単位の修得に※…通信授業試験、△…最終課題がある科目です。)

面接＝スクーリング(1単位2日間か3日間(科目により異なる)の受講)の合格で、3月末・9月末ごとに単位が認定されます。